

いかわ

NO. 129  
平成29年 1月 1日  
発行：秋田県井川町議会

# 町議会だより

## 迎春

今年の干支はとり(酉) (十二支の第10代目の動物)  
(井川中学校南側田園)

年頭のあいさつ .....	2
第4回定例会議案審査結果 .....	3
3議員が一般質問 .....	4
常任委員会審議 .....	7
人権擁護委員の推薦・陳情 .....	8
第6回・7回町議会全員協議会 .....	9
議員視察研修報告 .....	10
私のひとこと・議会のうごき .....	12





# 議長年頭あいさつ



## 将来を担える 人材の育成を

議長 藤田 俊悦



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、町議会議員の改選があり、私達12名が新たに議員に選出されました。皆様のご指導を得ながら力を合せ、議会運営、議会活動が出来ました事を感謝申し上げます。

今後も皆様との接点を第一に誠心誠意頑張つて参りますので、ご指導ご支援よろしくお願いいたします。

さて、昨年は世界数カ国の指導者達の選挙が行われ、全世界が固唾をのんで見守る中、予想に反しこれまでとは異なる政策を掲げる指導者を選択し世界を震撼させました。今年もまた同様な事が起るのか、その動向が注視されています。

また、国内外共に地震やゲリラ豪雨などの災害や事件、事故が多発しております。その中には学校や職場でのいじめ、あるいは高齢化社会を繁栄しているかのような事もあります。いずれの出来事も今後の社会のあり様に一石を投じているように思われなりません。

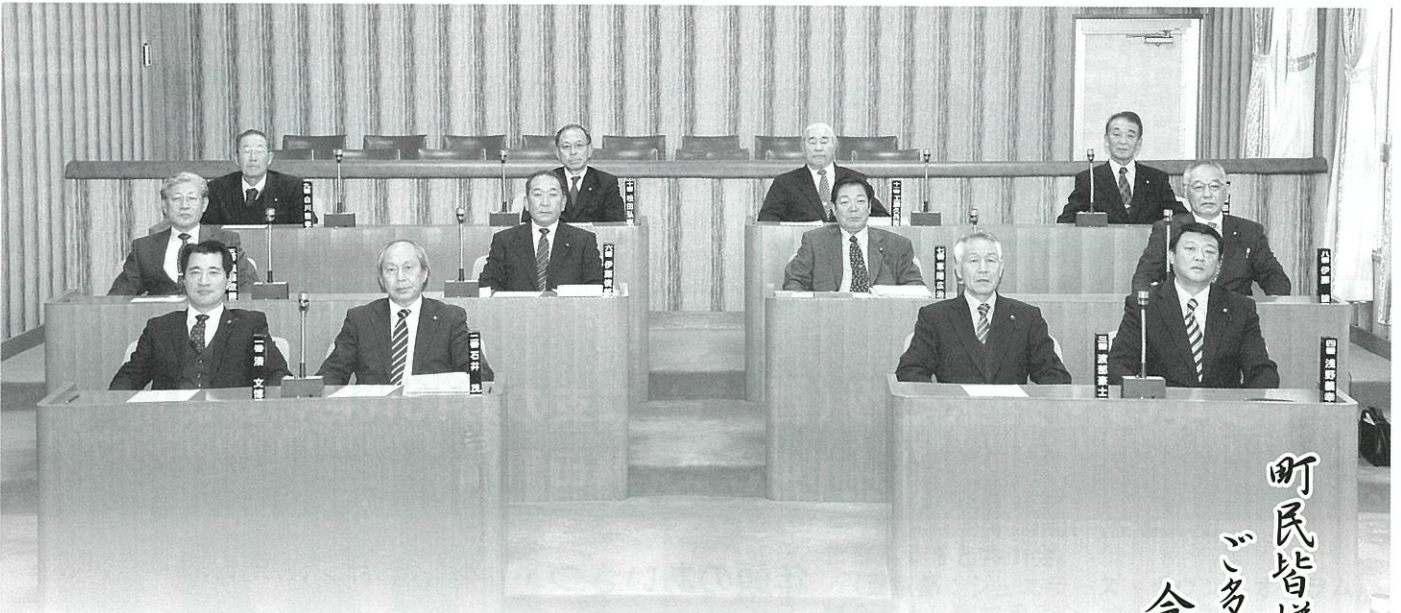
一方、本町においては、少子高齢化、人口減少、産業経済、福祉や医療、空き家対策などの課題があります。

これらはまた全県、全国各地に共通する課題でもあり、どれ一つを取つても避けて通れない難題ばかりです。いずれの課題に対しても将来に禍根を残す事のないよう今後尚一層議論を重ねると共に、知恵を出し合い乗り越えなければなりません。

また、全県のトップを切つて平成30年4月義務教育学校が開校します。それ故に課題が無いとは言えないでしょうが、児童生徒を第一に井川っ子らしさを失う事のないようにしつつ、義務教育学校のメリットが最大限に生かされた学舎を目指す必要があります。

将来町内外を問わず、世界で羽ばたく人材が育成される事を期待しております。

新しい年が皆様にとりまして、夢と幸多き年でありますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



## 町民皆様のご健勝

ご多幸をお祈りします  
今年もよろしく  
お願いいたします



議長 藤田 俊悦  
副議長 工藤 久兵衛  
議員 湊 文博

石井 茂  
渡部 豪士  
浅野 義幸  
遠藤 政勝  
伊藤 俊郎  
草階 廣治  
伊藤 雅讓  
白川 雅孝  
松田 弘咲  
事務局長 松田 和隆  
(議席順)



# 大型補正可決! 5億5380万円

## いよいよ予算化!! 子育て交流館 (仮称) 給食調理施設

29年度着工予定

(義務教育学校)

第4回

定例会 (12月議会)

[12月7日~9日]

第4回定例会は12月7日~9日の会期で開かれ、一般会計及び特別会計の補正予算等9件を原案どおり可決。

条例の一部改正2件を可決。陳情6件を採択とし意見書を関係大臣等へ提出することにした。28年度一般会計補正は5億5380万円を追加し、累計37億8360万円とした。

歳出の主な内容は、震災復興特別交付税返還金1513万円、子育て支援施設整備事業2億7087万円、日本国花苑整備事業5480万円、義務教育施設整備事業(給食調理施設整備等)2億4917万円、放課後子ども教室推進事業費130万円等の追加。公会計整備業務委託529万円、無料巡回バス購入費172万円、義務教育施設整備事業費(校舎棟増改築等)3099万円等事業完了等による減額。

歳入の主な財源は、普通交付税4153万円、特別交付税2千万円、公立学校施設整備費国庫負担金(校舎棟増改築)877万円、地方創生拠点整備交付金6千万円、学校施設環境改善交付金(給食調理施設)1843万円、あきた未来づくり交付金1億3980万円、井川っ子教育推進基金1億円、前年度繰越金6976万円、町債9340万円等の追加。

### 条例の一部改正

- ①井川町税条例の一部を改正する条例
- ②井川町国民健康保険条例の一部を改正する条例

## 28年度 各会計予算表 (補正)

(単位:万円)

会計名	補正額	補正後の額	主な歳出内容
一般会計	5億5380	37億8360	震災復興特別交付税返還金 1513 子育て支援施設整備事業 2億7087 日本国花苑整備事業 5480 義務教育施設整備事業(給食調理施設整備等) 2億4917 放課後子ども教室推進事業費 130 公会計整備業務委託 △ 529 無料巡回バス購入費 △ 172 義務教育施設整備事業費(校舎棟増改築等) △ 3099
国民健康保険事業特別会計	1239	7億 126	療養給付費負担金返還金 1198
介護保険事業特別会計	113	8億3024	町村電算システム共同事業組合負担金 176 居宅介護サービス給付費 △ 450 地域密着型介護サービス給付費 400
介護認定事業特別会計	△ 330	2790	出向職員負担金(八郎潟町から出向) △ 396
介護サービス事業特別会計	△ 130	3億 210	機械器具費(入札による請負差額) △ 132
下水道事業特別会計	119	2億5352	消費税及び地方消費税 48 ポンプ修繕料 71



# 一般質問



遠藤 政勝  
議員

## 町職員の定数条例をどう考える 乖離しているのだから考える

**問** 現在の職員定数条例は平成9年施行で職員数116人に対し現在54人、臨時職員53人。条例では臨時職員を除く事になっている。この状況をどう考える。

**町長** 人員管理はしてきたが、臨時職員の活用も含め、定数の乖離はいなめないで、もう一度条例を考える。

**問** 雇用状況が厳しいとすれば、再任用制度を導入すべきだ。

**町長** 再任用制度は27年度県内25市町村中、実施しているのは19市町村である。若手の職員の採用を主体にするが時間の問題もあるのだから、来年度から人事評価制度を取り入れ、導入を考える。

## 文化財を後世に残す責務は 文化財は町の歴史と文化として保存伝承する

**問** 建設予定の子育て交流館、義務教育学校用地は中世の坂本城跡、国技の相撲、花籠道場を撤去したが、町の歴史文化の面から、どう後世に残すか。

**教育長** 文化歴史を正しく理解する事は、将来

の文化発展の基礎ともなるので保存は適切に行ない、記録としても残す。また、この様な文化財は独自の学校でのカリキュラムの検討と顕彰等であり、資料館の活用も含め、歴史文化として後世に、保存伝承に努める。

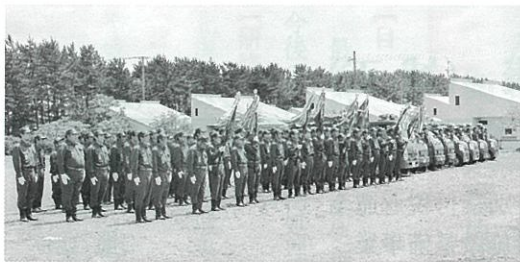
## 消防OB団員の活用 を図るべきでは 活用を考える時期と認識している

**問** 町の防災を担う消防団員の確保は大変ではないか。機能別消防団員のOB団員の活用の検討時期ではないか。

**町長** 現在の団員は145人の定員に132人。日

手伝い等の活用を図る。

中出勤できる人は、町内に勤務している59人だが実際にもっと減ると思う。OB団員の活用を考える時期と認識している。現在のOBは60才以上70人を含め106人いる。人口構成からみても若い人だけでは限界があるので、今後、分団と相談しながら、広報巡回等の



団員の確保が課題

## 議会の事務局体制は 充分か

全体的な事務量をみて、検討したい

**問** 議会と執行部は両輪で町づくりと言いますが、議会の事務局体制は職員一人。全県の市町村でも例がない。

**町長** 議会からも何回も提案されており、全体の事務量をみながら、引き続き考え、検討する。

**問** 町の総合戦略の中

の人口対策の一つとして、日本国花苑での婚活イベントの予算化は。

**町長** 町では直接事業を実施していない。県支援センターのボランティアの事業として3年間事業を実施してきたが今年度は開催していない。相談があれば、補正対応でも受け入れる。

## 義務教育学校の職員 室は狭いのでは 問題意識は持っているが建築法で無理

問題意識は持っているが建築法で無理

**問** 30年開校の県内初の義務教育学校、万全な体制でモデル校になれる様な学校に育てたい。ただ気になるのは、現在の中学校の職員室に小学校の教師も入るとすれば狭いのではないか。

**教育長** 現在の教師は19名、30年には小中で34

名の予定だ。検討委員会等でも検討してきたが、建築法の基準からも増築は無理がある。増改築部分の2カ所に待機所、事務機器の移動等でスペースを設けたい。問題意識はもっているが職員室の増築は無理である。





伊藤 議員

## 教育・子育て支援特区申請をどう考える 特区申請は難しい

**問** 平成30年に義務教育学校が開校される。少子化が進行する中、将来的には学校経営が成立するのか疑問さえ感じる。何をもって義務教育学校のメリットとするのか。教育子育て支援では、



増築が進行中だが教育の中味が大事

特化する支援を明確にし、特色を打ち出すべきと考える。本町の教育は、義務教育学校というまだ聞き慣れない新しい形態に変わろうとしている今、既成概念に捕らわれない考えを導入すべく、特区申請をしてはどうか。

**町長** 子育て支援の充実は共通の課題だ。子育て支援での特区申請は難しい。  
**問** 将来的に学校経営を株式会社へ委託する考えはないか。  
**町長** 今現在は必要ない。

**問** 教職員を単独本町で採用する考えはないか。

**町長** 現段階で職員数が未定のため明言できない。

**教育長** 具体的な定数配置がどうなるかを見て判断する。

①一人の校長と一つの教職員の組織で、9年間一貫した細やかな教育が行える。

②小中の繋ぎ目がスムーズにでき、中一ギャップなどの段差が緩和できる。

③小中の良さが取り入れられた職員の意識改革が進み、授業力が向上する。

加えて井川町の特性で、小学校の横の繋がりができないため、中学校との縦の繋がりが学力と人間性向上を図る事ができる。

**問** 現在の小学校校舎は再利用するのか。

**教育長** 教育委員会として、ふるさと教育や環境教育を行う場にしたと考えている。

## 診療所を核とした訪問 看護を実施しては 在宅医療は課題が多く難しい

**問** 最近の国の方針でも自宅介護に重点を置く方向性が示されている。本町は診療所に待望の医師に赴任頂き、地域医療に尽力して頂いている。やっとならばの診療所としての機能が動き出したのを機に、訪問看護で自宅介護が可能なシステムを構築する考えはないか。

**町長** 半年たつてやっとならばの診療所として動き出したところであり、活動の継続が大切であり、現在の医師とスタッフではこれまで以上の負担が生じる。在宅看護につき医師から意見を聞いたところ、「診療所継続ができる範囲内でのような在宅看護が望ましいかを明らかにし、無理のない範囲内で在宅医療に取り組みたいが、在宅医療は難しく課題も多くあり、現段階では難しい。数年は掛かると思う」とのことであった。これから関係機関と連携し住民の理解が得られるよう進めていく。



支援も大事だがフォローも大事



# 一般質問

## 人口減少の今後の対応は

なかなか解決策はない！  
人口減少のスピードを緩めていくことが鍵！



浅野 義幸  
議員



活発な意見が飛び交った町民のつどい！

**問** 人口減少は、各市町村が頭を悩ませる問題で、これといった解決策もなく現在に至っている。人口が増えると期待するのではなく、今後人

口が減る事を考えて「人口が減るにもかかわらず楽しそうに暮らしている町にはどんなからくりがあるのか」また「人口が少ないにもかかわらず住民の満足度が高い町にはどんなからくりがあるのか」考える時ではないか。

先日、読んだ本の町民参加型で町づくりの成功事例記事をみた。中身は、行政と町内から色々な分野の人を招集してプロジェクトチームを作り、町の数年先の事や行事やイベントを町民参加型で町づくり協力し、希薄化した町を活性化しとあった。また、プロジェクトチームは現在、人が人を呼び町民も町の今後に興味を持ち、数人からスタートしたプロジェクト

口が減る事を考えて「人口が減るにもかかわらず楽しそうに暮らしている町にはどんなからくりがあるのか」また「人口が少ないにもかかわらず住民の満足度が高い町にはどんなからくりがあるのか」考える時ではないか。

**町長** 人口減少、なかなか解決策がない。今後人口減少をどう捉えて行くのか、私も同感である。今、様々な対策を考えて総合戦略が作られた訳であるが、それをもってしても人口減少を止めることができない。我々が、作成した人口ビジョンを見ても明らかである。どうやって人口減少のスピードを緩めていくか、そこに鍵があると考える。その具体案は、これから様々な面で考えて行く必要がある。

ご指摘があったプロジェクトチームは、読んだ書籍の中では数人からスタートした町民参加型で300人まで規模が増えたことだが、我々も住民と共に町づくりしていか



若手職員による小学校跡地再利用プレゼン！

ないといけない思いは一緒である。先般、11月26日に開催した、いかわを拓く町民のつどいですが、今回新たに若手職員のプロジェクトチームが発表した。その中で、町民の皆様と議論したことで、若手職員の活躍をみて大変意味深いものと思った。行政の仕事とは、若手やベテランに限らず取組んでいく基本姿勢があり、どうやったら町民の参加を得られるのか考えていく。提案の年数回開催とは、現状では難しいと思うが、そのような機会をを考えていく。また、行政がやっていることに住民の方々と一緒に町づくりに取り組み。今回特産品開発研究会の募集に対し7名の応募があった。そんな方々のアイデアを行政も受け止め議論を尽くし物事を進めていく。今後も色々なプロジェクトを考えていく。





こんなことを  
審議しました

# 委員会審査

質疑応答の  
主なものを掲載

## 総務産業

**問** 公会計整備費が5

00万程の減額となった  
補正だが、内容は。

**答** これまでの決算諸表としてバランスシートは固定資産等の財産の部において、事務費も入っている事業費ベースで作成しており正確ではなかった。今回、固定資産台帳を整備し直し、土地・建物・道路等台帳化し、更に、全国統一方式で作成するものであり、当初1千400万円の大きな予算を計上していたが、減額出来ると見た。使用システム及び委託料の入札等があり、見えない部分もある。

**問** 有線放送の音量調整不良による交換が必要とした場合、使用者の負担は。

**答** 故障修理、交換も無償対応する。

**問** 電算機器の保守委託内容は。

**答** ネット回線と個人情報部分を切り分けて使っており、ネット回線の中のプログラムの破壊やデータの改ざんを目的に侵入されることから、監視システムを導入し、県が専門業者に監視業務を委託する。市町村は共同でそれに対し保守委託することとしている。迷惑メールはいっぱい入ってくるが、切り分けられており、業務に支障はない。

**問** 国花苑整備事業の遊具の更新時期、期間は。"さくらまつり"前に完成出来ないか。

**答** 工期を約2カ月と見込んでおり、3月中に発注できれば可能か。不可能であれば秋頃になる。また、遊具は同規模を想定しているが、入札は提案型プロポーザルを予定しており、周りの彫刻等環境にも配慮したデザインを想定している。事業

構成は、遊具の撤去・設置、案内看板、歓迎塔の設置、キャンプ場へも遊具新設としている。

**問** 農地中間管理事業の集積等の実績は。

**答** 27年度出し手、7名約16ha。28年度現在14名の30haと前年より増加している。

## 教育民生

**問** 子育て交流館敷地はどこまでが町有地か。

裏の杉林で日当たりが悪いこともあり、土地の買取り、杉伐採の考えがあるのか。

**答** 平面部分はおおむね町有地。後の法面部分は測量しないと判断できない。杉林が景観上よくないとの話も出ているため、土地所有者との協議も含め、検討する。

**問** 消防ポンプ積載車未更新は第4分団のみと

なっている。分団再編も含めての考えは。

**答** 第4分団は隊員が9名だけとなり、他分団との統合を検討している。その為、更新をせず統合についての協議が続いている。統合結論となれば来年度と考えている。また、統合による分団長対応については、他市町村の事例を参考にして考える。

**問** 認定こども園費の臨時雇賃金追加の内訳は。

**答** 保育士2名を採用したことにより減額対応できると見込んだ当初予算であったが、0歳児の途中入園などにより、今回補正対応とした。

**問** 集会所等の修繕費がようやく計上されたが、これまで現場の状況や要求を把握していたか。もっと利用者の目線に対応すべき。

**答** 要求内容は毎年確認しているが、この件は把握できなかった。今後、適正管理に努める。



国花苑 更新する遊具



# 陳情

12月定例会に6件の陳情書が提出され、審査の結果、全陳情を採択し関係機関に意見書を提出した。

## 採 択 …………… 全員一致

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 洪谷 一

## 採 択 …………… 全員一致

◎地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書を求める陳情書

秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 洪谷 一

## 採 択 …………… 全員一致

◎介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める国への意見書提出の陳情

秋田県社会保障推進協議会  
会長 渡辺 淳

## 採 択 …………… 全員一致

◎「高額医療費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める国への意見書の提出の陳情

秋田県社会保障推進協議会  
会長 渡辺 淳

秋田県保険医協会  
会長 草薨 芳明

## 採 択 …………… 全員一致

◎地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について

秋田県町村議会議長会  
会長 高橋 猛

## 採 択 …………… 全員一致

◎若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める国への意見書提出の陳情

秋田県社会保障推進協議会  
会長 渡辺 淳

全日本年金者組合秋田県本部  
執行委員長 渡部 雅子

## 人権擁護委員の推薦



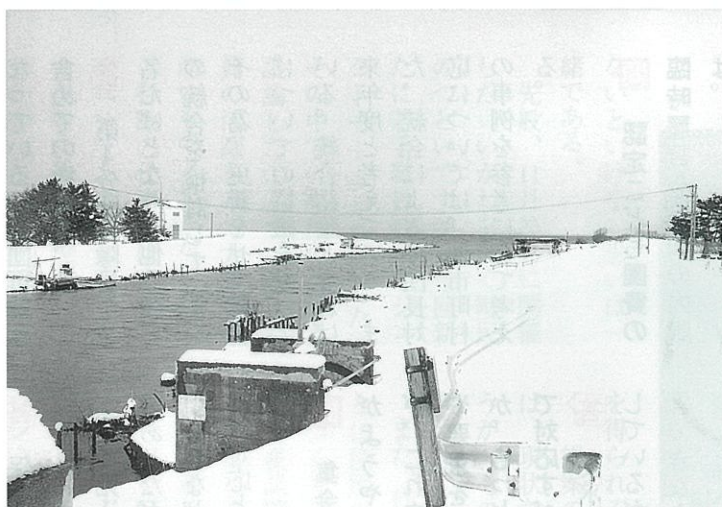
藤田美保子氏  
(浜井川)

### 提案理由

平成29年3月31日をもって石井通子委員が任期満了によるため

### 任 期

平成29年4月1日より  
平成32年3月31日まで



一部景観整備された井川河口



# 全員協議会

## ●期待される子育て交流館 ●どう活かす小学校空き校舎

◆ 11 / 11 第6回開催

### 協議事項

町当局から、平成30年にむかって2つの大きなプロジェクト提案があった。

一、地方創生拠点整備交付金を受けて子育て交流館（仮称）の工事を前倒しで進めていく。

二、義務教育学校給食棟は補正予算を組んで、今年度に進めていく。

三、役場前の秋田銀行のATMをバリアフリー対応するため商工会前に町の費用で移転する等、図面を含む資料等で説明があった。

**問** 子育て交流館建設地は旧幼稚園跡地で良いのか。

○子供たちが伸び伸び遊ぶには狭くないか。

○大型バスは駐車場に入るのか。

**答** 子供たちが放課後すぐ向かいから移動できる点を考えると多少敷地が

狭いと言われるが、この場所がベストと考える。

**問** 建物の構造は無落雪にするのか。屋上には子供達を上げるのか。

**答** 小さい子供がいるので屋根は無落雪とする。屋上には多少の遊具を設置して天気の良い時には子供を屋上に上げる方法

で考えている。

**問** 義務教育施設の給食棟の建築期間は、受験生への支障が心配されるので早く完成できないか。また、構造が鉄骨と合いがとれない。

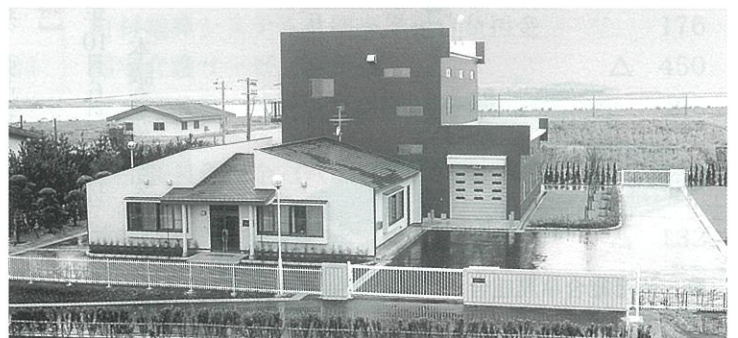
**答** 完成時期は可能ながら前倒ししていく。木造にできなかったのは、調理施設等は衛生上気密性を求められていることや、消防防火の点からも

鉄骨にせざるをえなかった。ただ景観上は校舎と合うよう杉板ばりとし、違和感のない外観としている。

尚、協議会前段、八郎潟湖水苑を視察し、五城目町から「し尿の受け入れ」要請に対する現状把握の為、研修を実施し、意見、質問等を行ったが、今回の全員協議会で問題点を整理、答弁してもらうこととした。



旧幼稚園 新たな賑わいへ



八郎潟湖水苑

◆ 11 / 25 第7回開催

### 協議事項

第7回全員協議会では前回の湖水苑の「し尿受け入れ要請」に関する応答、9月定例会時に実施した、施設の現場視察に対する質疑等を行った。

**答** 湖水苑の問題は五城目町よりの資料を提出。

現在1日の処理能力量は8・0klに対し、平成30年には3町の処理量は7・1klと想定される。また、受け入れた場合のメリット、デメリットについては今後衛生処理施設組合が提示する。

**問** 現場視察した酒米圃場の酒の値段は。販売



先は。

**答** 価格は決まっていな  
い。純米吟醸酒4合瓶で  
市場価格と同等。数量は  
2千本。販売先は、東京  
品川の秋田美彩館、他を  
予定。

**問** 古くなった町営住  
宅の改修は。

**答** 相当年数が経ってい  
るので、改築、新築等具  
体的な検討をする。

**問** 井内町内の避難場  
は水害に大丈夫か。

**答** 低い場所だが、過去  
には水害を受けていない。  
高台は土砂崩れの心配が  
あるので現在の避難所と  
している。

**問** 中学校のグラウンド  
改修計画は。一角が30cm  
程下がっている。これま  
で軽微な補修で済まして  
いる。もっと厳しく管理  
をすべき。

**答** 緊急なものは12月補  
正で対応する。状況を把  
握し今後の維持管理にあ  
たる。

**問** 「いかわを拓く町民

のつどい」の内容は。

**答** ①義務教育学校開設  
に向けて。②移転後の旧  
小学校の利活用について。

1部は小中一貫校推進  
委員会での経過、今後の  
予定等を説明する。

校名は、  
・井川義務教育学校  
・義務教育学校井川学園

・義務教育学校井川学舎

・義務教育学校いかわ  
この4案を提案する。

2部については、町長  
がコーディネーターとな  
り、役場の若手職員プロ  
ジェクトチームメンバー  
による他県の事例を紹介  
しながら、会場の皆様と  
話し合っていく予定。



低い避難場所で大丈夫か

# 視察研修

## 湖東地区行政一部事務 組合議会

**【目的】**

東日本大震災から5年を経た現在の  
復興状況と今後の展望

**【研修地】**

岩手県宮古地区広報行政組合消防本部

**【日時】**

平成28年6月28日～29日

(本議会から組合議員3名町消防団長参加)

## 八郎潟町・井川町 衛生処理施設組合議会

**【目的】**

最新の汚泥再生処理センター見学と  
今後のし尿浄化槽処理について。

**【研修地】**

北海道渡島西部広域事務組合

**【日時】**

平成28年10月12日～13日

(本議会から組合議員3名参加)

## 八郎湖周辺清掃事務組合議会 (八郎湖周辺クリーンセンター)

**【目的】**

当クリーンセンターは平成20年運転  
開始され、今後改修が予定されている。  
今回同じストーカ炉導入施設を見学し  
て今後の改修事業に資する。

**【研修地】**

新潟県燕・弥彦総合事務組合

**【日時】**

平成28年10月6日～7日

(本議会から組合議員2名参加)



燕・弥彦総合事務組合  
環境センター  
ストーカ炉施設



## 議会だより編集委員会 行政視察

### 【目的】

議会だより編集委員の技術向上を目的し、2年に1回先進地視察研修を行う。

### 【場所】 岩手県葛巻町議会

### 【期間】 11月4日～5日

企画編集から発行までの行程、役割分担、一般質問の要旨記事のとりまとめ方、町広報誌との関連掲載事項と調整等について意見交換をする。

### 【特記】

葛巻町では災害時の情報を町民に知らせるため、光ファイバー網を活用した地域情報通信基盤施設を整備し自主放送チャンネル「くずまきテレビ」を平成23年から開局している。このチャ

視察後の合同写真

ネルを活用して議会中継の生放送を行っている。町内の家庭や事業所が加入しており、家庭や職場のテレビで議会が視られる。また、議会を視聴できなかった町民に向けて、金曜日、土曜日、日曜日の週末に放送している。議会の会議は、これを公開する手法で規定しており、これに沿った対応には大いに参考になった。



くずまきテレビ

## 平成28年度町村議会 広報研修会

### 【目的】

議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが要請されることにかんがみ、議会広報実務担当者を対象にした研修及び意見交換の場を設け、議会の発展に資する。

### 【場所】 東京都千代田区

(シーエンパツハ・サポー)

### 【期間】 10月25日～26日

3人の講師から広報誌の文章、広報誌の編集、優良議会広報クリニクについて研修を受ける。

広報誌は住民と議会との良好な関係づくり、議会への関心を高め、共により良い地域社会を作っていく。

向っていく方向は議会と地域住民は一緒。また、コミュニケーションは受け手により成立する。受け手目線に立ち、広報することが大事と指導される。



研修中の一コマ



私の

明るく暮しやすい町内会を



今戸町内会長  
遠藤 兼一郎

今戸町内の活動報告という形で書かせていただきました。町内会の役員を離れて4年。当時は会長のもと町内会事業を手伝っていましたが、今年度初めて町内会長職を引き受けることとなり、従事してみても、これほど事業のほかにいろいろやることも多く少々驚いています。事業計画や実施に当たっては、各部長にご迷惑をかけながら懸命についているというのが実感です。

最近子供達が少なくなり祭りの行事も危ぶまれるなか、世代間を超えて協力を頂き、児童館が主体となって「今戸願人踊り」が継承されています。あわせて、女の子の手踊りも継承され、5月5日には神輿を担いで町内を巡回し、願人踊りや民謡手踊りを披露して好評です。6月第一日曜日には運動会を行い、多数の参加で頑張りと大いに笑いあい、後の交流会でさらに交流を深めております。

夏の盆踊り大会は毎年8月15日ですが、今年はいくくの雨で19日の土曜日に延期しましたが、老人クラブや婦人会、育成会などの多数の協力を得、子供達の参加もあり、例年以上の盛り上がりでありました。これはひとえに町内のまとまりであり、誇りに思うところであります。

清掃活動についてはみどり会と共同で年2回実施し、町内道路、国道沿い、地先方面の水路沿いを重点的に清掃及び空き缶・ペットボトルなどの回収を行っています。各世帯からほとんどの人が参加されている状況です。この後の町内会事業としては新年に入ってから、秋田の昔つこを聞く会を計画していますが、今後、お互い声を掛け合い、明るく楽しみのある、暮らしやすい町内を目指し、微力ながら頑張りたいと考えています。

議会のうごき

- 9月8日 議員、町内各施設、現場視察
- 9月14日 義務教育学校の意見交換会（役場議場）
- 9月26日 南秋田郡議会議長連絡協議会（五城目町）
- 10月6日 県議長会正副会長会議、理事会（八郎潟町農改センター）
- 10月6日～7日 八郎湖周辺清掃事務組合議会議員視察研修（新潟県）
- 10月12日～13日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会研修（北海道北斗市）
- 10月17日 議会だより128号発行
- 10月25日～26日 町村議会広報研修会（東京都：シェーンバッハ・サボー）
- 10月25日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会（五城目町役場）
- 10月27～28日 町村議会議長視察研修会（福島県津若松市議会）
- 11月1日 町村監査委員全国研修会（東京：メルパルク東京）
- 11月4日～5日 議会だより編集委員視察研修（岩手県葛巻町議会）
- 11月7日 地方議会活性化シンポジウム2016（東京：虎ノ門ヒルズフォーラム）
- 11月8日 秋田県関係自由民主党国会議員との懇談会（東京：グランドアーク半蔵門）
- 11月9日 第60回町村議会議長全国大会（東京都：NHKホール）
- 11月11日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会八郎潟湖水苑視察（八郎潟湖水苑）
- 11月11日 第6回議会全員協議会（役場議場）
- 11月12日 首都ふるさと井川会（東京都：ジュエラズ・タウン・オーラム）
- 11月21日 議会だより編集委員会（役場）
- 11月22日 知事と市町村議会議長との行政懇談会（県市町村会館）
- 11月25日 第7回議会全員協議会（役場議場）
- 11月29日 第8回議会運営委員会（役場正副議長室）
- 11月30日～12月1日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会議長研修（山形県新庄市）
- 12月7日～9日 第4回井川町議会定例会（役場議場）
- 12月7日 議会だより編集委員会（以降4回開催）
- 12月21日 八郎湖周辺清掃事務組合議会（八郎湖周辺クリーンセンター）
- 12月22日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会（八郎潟町役場）
- 12月26日 第5回議会臨時会（役場議場）
- 第8回議会全員協議会（役場議場）
- 12月26日 湖東地区行政一部事務組合議会（湖東消防署）

編集後記



28年も本町は自然災害の少ない年であったと思う。日本各地は4月の熊本地震から始まり、鳥取中部地震、8月9月の台風7・9・11号は北海道に大きな被害を、更には台風10号は迷走台風として東北、北海道に上陸し、岩手県内等に甚大な被害をもたらした。お見舞いを申し上げます。町でも地域防災計画を策定し、春にはハザードマップを各家庭に配布。いま一度災害についての備えをとってほしいと思う。

さて、県内初となる義務教育学校が30年に開校となる。課題を十分に検討しながら、子どもたちが喜んで学べる学校作りを目指したいと考える。

年4回の議会だよりは、皆様に読まれ、議会活動が伝わる紙面作りを努めたい。これからもご愛読をお願いします。

今年、町も町民各位も穏やかで、佳き年であります様にお祈り申し上げます。

（遠藤 政勝 記）

議会だより編集委員



- 編集委員長 伊藤 讓
- 副委員長 松田 弘咲
- 委員 湊 文博
- 委員 伊藤 俊郎
- 委員 遠藤 政勝
- 委員 渡部 豪士
- 委員 藤田 俊悦